

実施日：5月13日（4校時）	
領 域：道徳	
取組名：情報モラル学習	
対 象：全学年	実施場所：教室
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>・ メールに対する価値観の違いを理解し、共によりよく生活しようとする態度を育てる。</li> <li>・ 資料と同様の事象は誰でも起こりうることで身近な問題であることを認識する。</li> <li>・ ネット被害を受けない、加害者にならない姿勢をつくる。</li> </ul>	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 携帯電話を持っている生徒は、連絡やささいなことを報告することにもメールを使用する。機能として安易に転送することもできる。メールに対する価値が人それぞれ違うので、相手の立場を考えて正しく使うことに気づかせる。</li> <li>・ いじめ未然防止や解消のためには、まわりの人がいじめは絶対に許さないという態度を示すことの大切さを理解させる。</li> <li>・ 携帯やスマホの向こうにいる相手を思いやることの大切さを身に付けさせる。</li> <li>・ 感じたこと、考えたことを書かせ、クラスで発表しあう。その感想の何点かを学年通信に掲載することにより、保護者の人権意識の高揚を図る。</li> <li>・ 書く活動や語り合う活動など自己の心情・判断等を表現する機会を充実し、自らの道徳的な成長を実感できるようにする。</li> </ul>	
ウ 連携先：生徒会本部	
エ 連携にむけての取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒会活動で「いじめ追放」をテーマにした活動を行う。</li> <li>・ 学級でのあいさつや掃除などを協力し合うことにより、相手を思いやる気持を体験によって実践力につなげる。</li> </ul>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行ううえでの工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業を担当する全教師が、生徒の実態や授業の進め方などに共通認識をもって授業に取り組むため、事前に打ち合わせを行う。</li> <li>・ 生徒を温かく見守り、よさを認め励ましていく教師の姿勢を大切にする。</li> </ul>	
カ 評価の方法 生徒の感想文	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネット上の問題は、道徳規範の問題であることが理解できた。</li> <li>・ 正しい携帯・スマホの使い方をしようと意識を高めた生徒が多くいた。</li> <li>・ 自分とは異なる考えに接する中で、自分の考えを深めることができた。</li> </ul>	
ク 課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 頭で考えたり心で感じたりしていることが、実践力につながるような手立てを考える。</li> <li>・ 生徒の実体験に即した内容の題材を用い、日常生活に生かされるような工夫をする。</li> <li>・ 日常生活における道徳的実践を促すために、保護者や地域の人々との連携を図る。</li> </ul>	